

称」を策定するなど、保育環境の在り方を定めていきます。

対 環境経済課

し尿処理については、下水道未接続の状況に鑑み、衛生組合における処理費用、汲み取りに係る経費についての受益者負担を見直されたい。

町 下水道未接続者のし尿処理費用について受益者負担を見直したいと考えますが、足柄上郡統一の処理単価のため、担当課長会議等で調整しながら進めていきます。塵芥処理については、ゴミの減量により、歳出の抑制に繋がるが、減量リサイクル機の活用状況について調査し、次年度の方策に繋げられたい。

町 現在、減量リサイクル機の活用状況についてアンケート調査を実施し、その調査結果を次年度の方策に活用していきます。

監 農振農用地、水源林整備協定等、農業の活性化に繋がる情報提供については、速やかに対応されたい。

町 荒廃地対策など、農林業の活性化に繋がる情報提供については、速やかに対応していきます。

監 特産品の開発、観光事業等に努力を傾注している状況は評価するところであるが、西平畑公園等の使用料の当初予算額と決算額との乖離について十分検討し、料金単価を見直す等、自主財源を確保する工夫を重ねられたい。また、西平畑公園、最明寺史跡公園、寄自然休養村等に



西平畑公園で開催されるまつだ桜まつり

リピーターの誘致が可能になる事業展開を図られるよう関係機関と十分調整し推進されたい。特に、ハープ館、子どもの館等の中長期的活用について、検討されたい。

町 西平畑公園の駐車場使用料は、平常時の使用のほかに、イルミネーションや桜まつり等のイベント時におけるものの占める割合が大きいと、5年間の見込み額等を勘案して算出するよう努めます。ハープ館については、指定管理者と十分調整するとともに、利用者満足度調査などを実施し、リピーター確保に努めます。また、公園全体の活性化を図り、顧客の確保に努めていきたいと考えています。ハープ館や子ども館等の中長期的活用については、諸団体の意見を反映し、今後、より良い施設運営を進めていけるよう検討します。



やどりきふれあい動物村のドッグラン

監 ドッグラン整備事業については、単年度ごとの予算編成ではあるが、実質的に平成22年度、23年度の継続事業となっている。このような継続する事業については、前年度から準備を進め、新年度早々の着工につながるよう努力されたい。繁忙期までに竣工し、使用料の収入確保につながるよう配慮されたい。投資的事業については、効果を最大限に出せるように、工期、着工時期を考えて対応されたい。

町 今後は、業務執行において十分に配慮

した執行ができるよう努力します。

監 動物村の現金取り扱いについては、会計規則に準じた対応を取られたい。

町 動物村の売上金等については寄出張所に預けることで整理を行い、会計規則に準じた事務処理を実施します。(出納室回答参照)

監 住民の町内商工業への満足度が低い状況にあることだが、商工業者の運営状況と住民の生活観にギャップがあるということであり、町の商工業の衰退につながることを懸念する。商店の運営方法等、商業振興について、試行、提案されたい。

町 町では特産品開発や商店街活性化に對して補助を行っています。また、商工振興会と連携し商店街のPR活動の一助を担っているところです。今年度も、駅前物産館の整備に関する補助や、町の農産物等の加工品の開発や販売に関する調査を行い、魅力ある商店街となるよう引き続き支援していきます。

監 町が構成員となっている団体の業務内容が混在しているものがいくつか見受けられる。団体の統合、整理等を調整されたい。

町 複数の市町村や関係企業が参加している組織であることから、今後は類似協議会の統合・整理について、要望、提案していきます。

対 建設課



小田急新松田駅南口

監 小田急南口駅前広場については、段階的に整備が進められているが、一部歩道等の供用を開始し、交通安全に配慮されたい。

町 今年度の歩道整備工事完了後には、歩行者の安全性、利便性を考慮し、また、送迎車両の一部渋滞緩和を目的に、整備された歩道と南口階段下の空地について、暫定的に使用を開始する予定としています。

監 上水道事業会計については、住民票を置かない利用者の使用料の徴収方法を工夫し、不納欠損に至らないように配慮されたい。また、滞納整理については、全庁体制で対応し、安易に不納欠損としないようにされたい。

町 住民票を置かない短期入居者に対しては、窓口対応にて口座振替の更なる推奨を図り、料金滞納者に対しても、給水停止の強化など対応していきます。滞納整理については、関係各課との連携を図りながら対応していきます。

監 寄簡易水道事業会計については、料金体系を含め、上水道事業会計との統合も考慮に入れながら、健全経営に努められたい。

町 節水思考により使用量の増が見込めない中、安定した収益確保までの間、他会計からの借入、上水道事業会計との一本化、収入料金体系の見直しなどを視野に入れ検討するとともに、健全経営に努めます。

監 下水道事業会計については、今後の下水道管渠の更新、耐震化事業等を見据えて、下水道使用料の改訂について審議会の答申を得て、段階的に引き上げし、一般会計の繰出金を抑制するように図られたい。

町 今後の事業執行の効率化を図るため、使用料改訂に向けての審議会を開催し、答申をいただくよう進めています。

対 教育課

監 町民文化センターについては、歳入、歳出の収支バランスがよくない。費用対効果等も鑑み、使用料単価の価格改定を

検討し、懇話会における論議として、今後の町民文化センターの在り方、必要性について検討し、その後の計画的な方針について示されたい。

町 教育委員会では、今後10年間に係る建物、舞台の付帯設備、空調関係の工事見積を各事業者依頼し、町民文化センターの維持管理経費についての検討用資料を作成中です。この資料を基に、今後どのような利用形態が望ましいかを調査研究し、施設整備計画を作成します。また、使用料の改定については、現在、減額または免除している団体等の費用負担の在り方を見直すとともに、検討を進めていきます。

監 松田小学校校舎の老朽化が著しい。早い時期に建替えに繋がるよう、中長期的な視点を入れて、対応策を検討されたい。建て替えに至る間、学校施設の計画的な修繕、改修に努めます。

監 酒匂川健康ふれあい広場の大井町との協定については、実情に応じた見直しを図られたい。

町 昨年の災害復旧工事を行う際と同様に、改めて今後の在り方について両町で協議しましたところ、大井町としては、「誰でも自由に使用できる広場としての位置づけはあるものの、スポーツ施設としての考えはなく、災害等の復旧においてもスポーツが十分にできるまでの整備をする必要がない」との意向であると受け止めております。については、本町におけるスポーツ振興拠点の一つである本施設を維持するため、松田町が主体となって今後の施設管理を行うとともに、大井町には引き続き経常的な維持管理費を負担していただき、その他については、必要に応じ協議をする方向で進めていきます。

監 福田奨学基金が有効な利用となるよう、対象者の条件緩和を検討されたい。

町 福田氏に照会した結果、「奨学基金設立の趣旨は、あくまでも現行の適用要件であり、堅持してほしい」との意向でありました。